

2023年10月17日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 九州建設技術フォーラム 2023 に出展

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、2023年10月11日（水）～12日（木）開催の「九州建設技術フォーラム 2023」に出展致しました。

当フォーラムでは、3次元点群データを活用した交通事故対策の効率化・高度化、3Dモデルを活用した水防災行政の効率化・高度化の紹介など同社保有の最新技術を展示いたしました。

名 称 : 九州建設技術フォーラム 2023
主 催 : 九州建設技術フォーラム実行委員会
開催日時 : 2023年10月11日（水）～2023年10月12日（木）
会 場 : 福岡国際会議場 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1



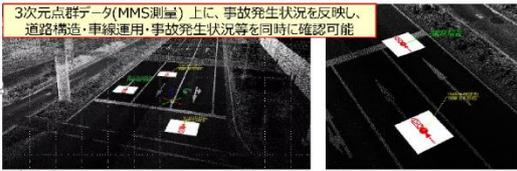
3次元点群データを活用した 交通事故可視化システム

交通事故は、直接的な人的・物的損失に加えて、交通規制やそれに伴う交通渋滞等、様々な社会的損失をもたらし、近年減少傾向にあるものの、依然として道路管理者にとって大きな課題となっています。

交通事故可視化システムは、事故発生状況図、ドライビングシミュレーターの映像や交通挙動データ等、**事故要因分析に用いられる様々なデータを3次元点群データ上に一元化する**ものです。当システムの活用により、事故に繋がる状況を視覚的に確認しながら複合的に事故要因を分析することができます。また、計画した対策を仮想空間上に落とし込むことで、施工前の有効性評価や関係者との合意形成ツールとしての活用も期待されます。

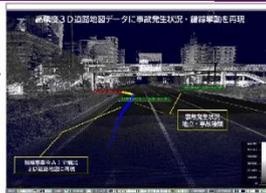
3次元データを活用した事故発生状況図の高度化

道路構造・車線運用・事故発生状況等を3次元点群データ（MMS測量）上に一元化することで、事故に繋がる状況を視覚的に確認しながら、複合的に事故要因を分析することが可能となります。



AI技術を活用した錯綜事象把握による交通事故要因分析

AIカメラやドライブレコーダーの画像を活用して、稀にしか発生しない錯綜事象を捉え、3D道路モデル上に再現する手法を開発しました。これにより、今まで見落としてきた真の交通事故要因を把握し、よりの確な対策立案が可能となります。

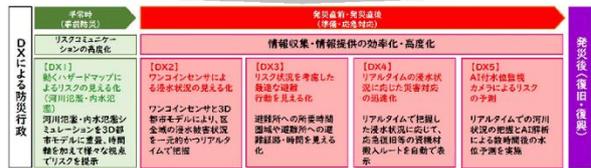


株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス

DXによるスマート防災 (水防災行政の効率化・高度化)

水災害の激甚化・頻発化・広域化・複合化に伴う災害対応・ニーズの多様化



災害対応の迅速化・効率化・高度化・省力化 / 防災担当職員の人材育成・現場の安全性向上



●動くハザードマップによる自分ごと化



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

●AI付水位監視カメラ



株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 E-mail: webmaster@oriconsul.com
 TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
 URL : <https://www.oriconsul.com/>
 統括本部 伊藤、丸山、門司